

指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

			管理No.
施設の名称	山形県遊学の森	指定管理者	(株)グリーンバレー神室振興公社
所在地	山形県最上郡金山町大字有屋1761	県担当課	最上総合支庁 森林整備課
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日	(電話番号)	(0233-29-1350)
検証期間	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日		

検証項目	指定管理者による自己検証	県(施設所管課)による評価・検証
1 仕様書等に沿った管理・運営業務の履行状況		
① 管理・運営業務の履行状況	<ul style="list-style-type: none"> 仕様書に沿って管理運営し、新型コロナウイルス対策については、農林水産部から示されたガイドラインに沿って対応した結果、感染者を発生させることもなく、利用者数は、昨年度の約倍増となり、概ね、計画どおり実施できた。 	<p>評価</p> <p>A</p> <p>＜評価の理由＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕様書に沿って管理運営を実施している。 県の通知等に基づき新型コロナウイルス感染症対策を適切かつ迅速に実施し、また、大型ポスターを作成し入り口や施設に掲示するなど、来場者に伝わりやすい工夫を行い周知していた。
② 管理・運営上の課題、問題点(改善すべきこと)	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画書のとおり実施しているが、老朽化に伴う、設備の改善が必要であること。また、館内において、簡単に木材に触れられるようなスペースがあればコロナ禍でも少しずつ利用促進につなげることが出来るようになる。 	<p>＜課題等の原因分析＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の経年変化による老朽箇所が存在する。このことから、県施設の維持保全に関する定期点検の担当課とも協議し、施設の維持・更新を図っていききたい。 令和4年度から遊学の森を木育拠点化施設として整備することから、効果的、効率的な施設の活用方法を指定管理者と連携して検討していききたい。
課題、問題点への今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の感染が拡大した場合や不測の事態が発生した際には、連絡を密に取りながら対応していく。 	
2 利用者からの要望等への対応		
① 意見・要望等及びその対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 利用者からの苦情等はありません。 ホームページの他にフェイスブックなどのSNSを活用し、活動の様子を発信するなどして利用促進に繋げることが出来た。 新型コロナウイルス感染対策についても、利用者の意見を拾っていきながら安全で安心な施設供用に努めていく。 	<p>評価</p> <p>B</p> <p>＜評価の理由＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者からの苦情等の情報は無い。 利用者の要望は、活動時に直接参加者からの意見を聞いたり、参加者の様子を観察するなどして把握されている。
意見・要望等への今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> 管内利用者や各種プログラム参加者の「ふりかえり」の時間を大切に、意見や要望等の細やかな把握に努めていく。 	
3 指定管理者制度活用効果		
① サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理の実践について、利用者が安全で安心した体験活動を行うため、事前の下見や危険予知についてミーティングを実施している。 特に利用者の多い地元の要望に対応するため、地域資源を有効活用した取組みを進めている。 利用者が森林を身近に感じ、その重要性に気付いていただけるようなサービスの提供に努めている。 新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの体験活動など、受け入れ側も独自に設けた安全対策を実施した。 	<p>評価</p> <p>A</p> <p>＜評価の理由＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域資源を利用した地域の再生、地元住民との協同活動を積極的に行なっている。 新型コロナウイルス禍においても独自の安全管理基準表等を作成し、受け入れ側(ボランティアである森の案内人等も含む)の感染防止対策を講じ、常設プログラムなどの体験活動を実施した。
② 経費の節減	<ul style="list-style-type: none"> 節電、節水はもとより、管理上で発生した廃材などは、チップにするなどして活用を図っている。また、体験活動でも資源の循環利用を進める。 	<p>評価</p> <p>B</p> <p>＜評価の理由＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 省エネに関する取組みについては積極的に推進している。
③ その他(地域の活性化、雇用の確保等)	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源の発掘(有屋峠、旧街道の復活等)を地元住民と協働で行う計画等をしてきたが、新型コロナウイルス感染症の広がりに伴い中止した。今後、コロナ感染症の感染状況の改善に合わせて、県外交流の促進に向けて再び動き始めていきたいと考える。 	<p>評価</p> <p>B</p> <p>＜評価の理由＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の広がりに伴って、地域の振興を図る拠点施設としての活動は中止にせざるを得なかったが、今後の活動再開に期待できる。
総合的な評価	<ul style="list-style-type: none"> 仕様書等に定められている事項に関しては適切な対応がなされている。 令和3年度は令和2年度から引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が大きかったが、施設管理者として迅速に適切な対応がなされていた。 前年度大きく利用者が落ち込んだことから、令和3年度の利用者数は回復傾向が見られたが、コロナ禍以前の半分以下の利用者数であった。今後、利用者数を増加させるための方策について、指定管理者と県が連携して協議していく必要がある。 	

【評価指標】

- A : 仕様書等に定める水準を上回っている等、優れた対応がなされている。
- B : 概ね適正に実施されている。
- C : 部分的に改善等を要するところがあるが、既に対応済み又は対応見込みである。
- D : 仕様書等に定める水準に達しておらず、大いに改善を行う必要がある。

注) 検証項目については、施設の特性等に応じて適宜追加することができるものであること。